

# CAMPUS INFORMATION

## 第55回 卒業制作展

2007年2月1日～6日 新潟県民会館3階ギャラリーA



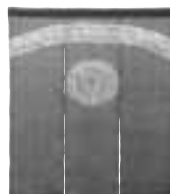
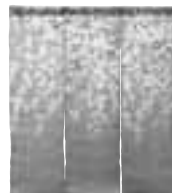
大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修の修了生と、教育人間科学部芸術環境創造課程造形表現コースと学校教育課程美術専修の卒業生による卒業制作展が開催。多くの方々が来場し、学生たちの作品に関心深く鑑賞していました。



### 風詠

横山真知子 ● 教育人間科学部 [彫塑]

風紋は、自然がつくる模様でとても美しいと感じます。その風紋と、素材である木の持つ形の流れが結びつき作品制作に至りました。みる人に作品から何かしら感じていただけたらと思います。



※作品の絵柄の一部を表紙に掲載しています。

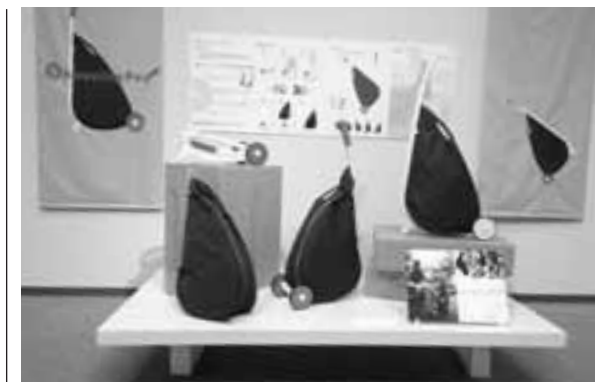
表紙掲載作品

### 花嫁暖簾

阿部育子 ● 大学院教育学研究科 [洋画]

加治川の桜、金魚台輪、新発田城三階櫓の鯨、酒蔵の杉玉。新発田で出会ったものや文化をモチーフに同市の染色職人にご指導いただきながら町並みを彩る暖簾を作りました。これは一昨年、新潟市内野町で開催したアートプロジェクト「うちのDEアート」で行った、通り沿いの民家に暖簾を架けるといふ企画から発展したものです。人や場との関わりから生まれる、生活の中に存在するアートを形にしました。

※4月中旬まで、新発田市まちなちの駅と3ヵ所のたまり駅に展示されています。



### Shopping Pet

渋谷 翔 ● 教育人間科学部 [デザイン]

ペットを散歩するように気軽につれて歩けるショッピングカートの新しい提案です。歩くという行為が面倒だと思ふことが多い現代ですが、このショッピングペットを使うことで少しでも歩くことを楽しめたらと思ひ制作しました。自分が作るもので日常生活が今以上に楽しく、豊かなものになってくれたらいいと思ひます。



### Living chair & Table

菅原 重郎 ● 教育人間科学部 [デザイン]

空間に溶け込むようなデザイン、「張り」のある美しいかたちを作りたと思っていました。

長期間素材と対話して見えてきたものは、今までの自分に欠けていたものでした。例えば椅子の背もたれの形を決める際、無限に存在する微妙な稜線のパターンの中から最良のものを自分の眼で見極め、すくい上げていく行為。最も単純で当たり前だと思っていたことが、作品の質を決める重要なアプローチであることを理解できた気がします。



### サボテン

久納紹子 ● 大学院教育学研究科 [日本画]

人には長い年月をかけて培った「癖・型」が存在するようです。本来的くしゃみの前後にかけ声を入れる人、手洗いの際に蛇口に水をかける人、そしてティッシュを配る際小指を立てる人等々、それらは「美」のあらわれなのではないでしょうか。



### 間

飯塚里絵子 ● 教育人間科学部 [洋画]

日々の中で人々が何気なく素通りしているものを切り取り、違う空間に置くことによって、見る人とそのもの間にそれまでになかった関係が生まれるのではないかと考えて制作しました。約50件の家の窓をスケッチして歩く過程を経て、この作品に辿り着きました。

会場を訪れた人は「何かあるだろう」と思いながら窓の中を見ているようで、その後ろ姿を見ながら、改めて4年間学んできた美術と作者、鑑賞者の関係について考えることができました。